

## 外国人に日本語を教えるための講座を開催

朝来市連合国際交流協会は、兵庫県国際交流協会と共催で、外国人に日本語を教えるボランティアを養成するための講座を5月22日から6週にわたり市防災センターで開催しました。増えつつある外国人住民に対して「日本語を教えてみたい」と応募のあった15名が受講しました。

今後、受講者を中心に外国人住民の日本語学習支援の輪を広げ、地域に暮らすすべての人が理解し合い、支え合う国際化に対応したまちづくりのために、

## 新教育委員に足立弘子氏を任命

市は5月24日、古屋敷和也氏（立ノ原区）の任期満了に伴い、足立弘子氏（物部区）を新たな教育委員に任命しました。

同氏の任命は、3月の市議会定例会での同意を得たもの。任期は4年間です。また、同日開催した市教育委員会で、藤本義性氏（楽音寺区）の委員長の再任と白石美由紀氏（中区）の同職務代行者の就任が決定しました。任期はいずれも1年間です。

市教育委員会は、市長が議会の同意を得て任命した5人の教育委員（教育長含む）で構成。

一層の支援や啓発活動を行います。



外国語教育を体験する受講者の皆さん

### 教育委員の構成

職名	氏名
委員長	藤本 義性
委員長職務代行者	白石 美由紀
委員	佐藤 千栄子
委員	足立 弘子
教育長	垣尾 幸博

（敬称略）

月の定例会と、臨時に開催する臨時会に出席し、学校教育の方針や教育予算案、教職員の人事、通学区域など、市の実情に即した教育行政の基本方針や重要施策を決定します。



夜久野茶道にある道標

がる夜久野高原にあがることになりませんが、高原では自然石に「なりあいみち」、また茶堂境内には「左しゅんれいみち 右福知山みち」などの道標もあります。ほとんどは舟形光背の地藏像に「なりあいみち」とだけ刻印されたものも多く見られることから、夜久野高原では規格が統一されたようにみえます。このように市内を北から東へ縦貫した巡礼道は高原を上夜久野村へと下っていくのです。

以上、前号とあわせ、そのほとんどが江戸時代末期（幕末期）と思われる中で、茶堂の銀杏の根方に建つ道標のみ「寛文拾三年丑（1673）七月六日 これよ里ひたり志ゆん連い道 なりあいまで十四里あり」と刻まれていることから江戸時代前期にさかのぼること

とが分かります。

道標とは、道路の分岐点などに設けられた「みちしるべ」で、それには進路及び方向並びに目的地、また場合によっては目的地までの距離などの情報が記されています。これらは一里塚のような幕府の政策によりつくられたものもありますが、そのほとんどは民衆の手によるものが圧倒的多数を占めます。また、石仏・道祖神・常夜灯などで代用する例も多く、このことから旅人の安全を祈る民衆の善意に満ちた素朴な願望が込められていたことを読みとることができ

きます。

（市教育委員会社会教育課）

※舟形光背：仏像の背後につけられる、仏身から発する後光をかたどったもの

道祖神：村境や道路の分岐点に立てられる、民間信仰の石像

先月号の内容について誤りがありましたので、訂正いたします。7ページ上段右から13、14行目

【誤】 阿弥陀如来を表す

【正】 大日如来を表す